

地域保健

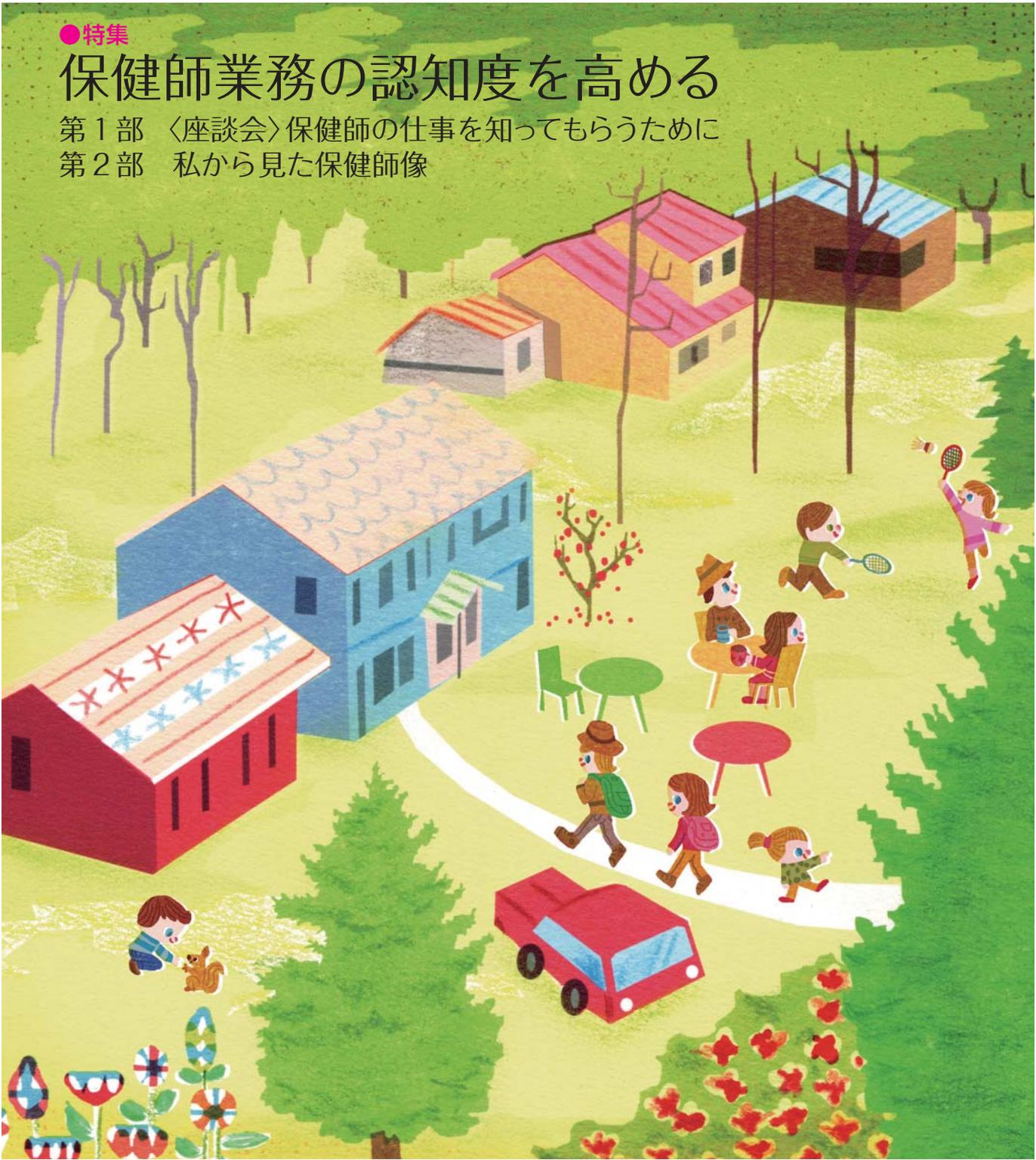
5
2017

●特集

保健師業務の認知度を高める

第1部 〈座談会〉保健師の仕事を知ってもらうために

第2部 私から見た保健師像





〈表紙イラスト〉
山本まもる
「ほら、新緑に
みんな集まって
くるんだよ」

6

【特集】

保健師業務の認知度を高める

6

第1部

〔座談会〕保健師の仕事を知ってもらうために



【出席者】

佐伯和子さん（北海道大学大学院保健科学研究院）＝司会

斎藤恵子さん（郡山市保健所）

橋本恵美さん（岐阜県国民健康保険団体連合会）

梶山直美さん（前堺市健康福祉局健康部）

26

第2部

私から見た保健師像

26 地域を「みる」「つなぐ」「動かす」保健師への期待 ～公衆衛生医の視点から～
藤内修二（大分県福祉保健部）

30 自治体における保健師活動の検証 ～行政法・行政学の視点から～
鈴木秀洋（日本大学危機管理学部）

36 保健師とソーシャルワーカーは職業的DNAが似ている!?
～ソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）の視点から～
中 恵美（金沢市地域包括支援センターとびうめ）

40 ドキュメンタリー映画を通して見詰めてきた保健師の魅力
～映画監督の視点から～
都鳥伸也（映画監督）

2 ひよこ、ホップ、ステップ、ジャンプ! ▶ 上田美菜子さん（岡山県保健福祉部健康推進課）

48 ピープル ▶ 角間惇一郎さん（一般社団法人 Grow As People 代表）

52 2025年問題に備える～みんなで取り組む「地域づくり」▶ 富山県

58 特別寄稿 ▶ 「地域医療の聖地」沢内村

62 REPORT ▶ 第4回福祉住環境サミット

64 NEWS

78 理解して生かす保健師用語 ▶ レジリエンス

90 情報BOX

96 次号予告／奥付

連載

44 (新) 保健師のセルフケアに役立つ自然療法〈第1回〉
／今知美

46 ESSAY 国際保健〈第19回〉／松田正己

68 (新) 保健師とは〈第1回〉／佐々木亮平、岩室紳也

72 (新) 笑う門には福来る〈第1回〉／大道芸人たつきゆうさん

74 保健師のための閑話ケア〈第70回〉／藤本裕明

80 百花繚乱「勿忘草」〈第4話〉／森岡花華

82 中臣さんの環境衛生ウオッチング〈第55回〉／中臣昌広

86 言葉と発達 いまどき子育てアドバイス〈第229回〉／中川信子

ひよこ

ホッポ。ステッポ。ジャンプ!



岡山城を背景に

上田美菜子さん

うえだ・みなこ

● 岡山県保健福祉部 健康推進課

「目の前のやるべきことを一つ一つやる」
ホルンのように、目立たなくても欠かせない存在に。

文：太田美由紀（ライター） 写真：カミヤス セイ



特集

保健師業務の 認知度を高める

P8 座談会 第1部

保健師の仕事を知ってもらうために



◆前堺市健康福祉局健康部
梶山直美
さん



◆岐阜県国民健康保険団体連合会
橋本恵美
さん



◆郡山市保健所
斎藤恵子
さん



◆北海道大学大学院保健科学研究院
佐伯和子
さん
司会

保健師の仕事の実態や全体像を理解している人は、当の保健師を除けば昔からそう多くはなかった。今日では、業務分担制の進展などによりかつての保健師像とは異なってきており、保健師の本当の姿がますます分かりにくくなっている。こうした中で、保健師の仕事が周囲に正しく理解されないために、保健師とつながることができず支援に至らない住民が出てくるのは大きな損失である。

特集では、他職種や住民に保健師の仕事をよりよく知ってもらうための方策を探る。第1部では、保健師の仕事への理解を周囲に浸透させるためには何が必要かを保健師が座談会で議論する。第2部では、他職種の専門家に保健師への期待や提言をまとめてもらう。第1部の内からの目と第2部の外からの目で、保健師のアピール方法を浮き彫りにしたい。

P26

私から見た保健師像

第2部

P26



地域を「みる」「つなぐ」
「動かす」保健師への期待
— 公衆衛生医の視点から
◎藤内修二（大分県福祉保健部）

P30



自治体における
保健師活動の検証
— 行政法・行政学の視点から
◎鈴木秀洋（日本大学危機管理学部）

P36



保健師とソーシャルワーカー
は職業的DNAが似ている!?
— ソーシャルワーカー（社会福祉
士・精神保健福祉士）の視点から
◎中恵美（金沢市地域包括支援センター
とびうめ）

P40



ドキュメンタリー映画を通し
て見詰めてきた保健師の魅力
— 映画監督の視点から
◎都鳥伸也（映画監督）

角間惇一郎

さん

●一般社団法人 Grow As People (GAP) 代表

社会から孤立しがちな夜の世界に生きる女性をサポートする

夜の世界で働く女性のセカンドキャリア支援を行う、一般社団法人「Grow As People」代表理事の角間惇一郎さん。ほとんどの人が気づくことのない、風俗店で働く女性たちの本音に迫り、生き方をサポートするに至った道のりについて話を伺った。

●聞き手……白井美樹（ライター）

人のために「何かがしたい」と模索する日々

―若くして、社会貢献活動をしようと思っ
たきっかけを教えてください。

角間 今33歳なので、15年くらい前のこと
になります。大学に入学し、モラトリアム
の中で、どう生きたらいいのかわからず、モ
ヤモヤとした時間を過ごしていました。特
にやりたいことがあるわけでもなく、この
まま単に卒業して、何となく就職するの
かと思うと、ある種の虚無感を感じずには
られませんでした。

そのころ、社会的には「環境に配慮しよ
う」とか「社会貢献しよう」といった風潮
がありました。そんな流れを感じ、「困っ
た人を助けるとした場合、どんな窓口があ
るのだろう」と模索していると、青年海外
協力隊という存在に行き当たったのです。

―青年海外協力隊に参加することを、最初
は目指されたのですね。

角間 特に熱い思いがあったわけではあり
ません。ただ、「途上国で小学校を造ろう」
といった目的は分かりやすいじゃないです
か。「モヤモヤしているくらいなら、行っ

ちやおう」という浅はかな考えから興味を
持ったわけです。

でも、募集要項を確認してみると、求め
られている人材は、医療従事者、看護師、
農業従事者、語学の先生など、専門知識を
持っている人ばかりでした。そんな中、た
だ一つだけ、勉強すれば自分でもできそう
な仕事がありました。それが、土木・建築
技術者だったのです。そこで、大学を中退
し、建築の専門学校に通い始めました。

―その後はどんな道歩んだのですか？

角間 専門学校で建築士の資格を取得し、

バックナンバー紹介

2016年3月号

特集「保健師にとって根拠（エビデンス）とは何か？」

保健師がよく使う根拠（エビデンス）という言葉について整理を試みる。研究機関と現場、それぞれの「知」を融合させる一歩を目指す。

2016年5月号

特集「次世代に伝えたい保健師のスキル」

若手・中堅のスキル低下が危ぶまれる状況を背景に、ベテラン保健師が伝えたいことを独自の視点でまとめる。

座談会「新しい時代における保健師のビジョン」

地域包括ケアの推進や産業界とのコラボレーションなど、保健師を取り巻く環境が大きく変わる中で、公衆衛生看護の担い手である保健師の立ち位置を模索する。

2016年7月号

特集1「保健師が関わる地域包括ケア」

保健・医療・介護の大きな流れである地域包括ケアについて、保健師の関わり方に焦点を当て、各地の好事例を紹介する。

特集2「小児慢性特定疾病対策を押し進める」

改正児童福祉法に基づく小児慢性特定疾病対策について、新制度への理解を深めるとともに、保健師が関与した具体例を見る。

2016年9月号

特集1「がんサバイバーシップを支える」

がんの治療後に充実した幸せな人生を送るための「がんサバイバーシップ」を地域で支えていく取り組みを事例紹介とともに考える。

特集2「災害時の子どものメンタルヘルス」

東日本大震災で子どもの心のケア支援に当たった医師・保健師が語る、ケアのポイント。熊本地震の子どもの心のケアに関するレポートも。

2016年11月号

特集1「事例検討会を効果的に進める」

日本看護協会が開発した事例検討会の手法を中心に、効果的な事例検討会の進め方の解説をはじめ、参考となる取り組み事例などをまとめる。

特集2「私のターニングポイント」

保健師が成長するプロセスでは、さまざまな出来事や人との出会いがある。ベテラン保健師の方々に、保健師としての転換期（ターニングポイント）を軸に、自らの保健師のキャリアを振り返っていただく。

2017年1月号

新春座談会「児童福祉法等の改正と今後の保健師活動」

新たな制度下において、保健師が児童虐待予防にいかに関わるのかを議題としながら、今後の母子保健の在り方や保健師のアイデンティティなどを描き出す。

特集「災害関連死を未然に防ぐ」

避難生活の長期化により持病が悪化し死亡するなど、災害関連死に結び付きやすい事柄について、被災者の支援に当たっている医師、歯科医師が解説する。

2017年3月号

座談会「これからの地域保健と地域福祉

～地域共生社会における「保健」の役割を考える」

公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らす「地域共生社会」は保健福祉改革を貫く基本コンセプト。この動きに「保健」はどうか絡んでいくか。

特集「高齢者虐待への対応

～介護家族への支援に焦点を当てて」

老老介護も珍しくなくなった今日、介護家族の支援に焦点を当て、支援の重要性を説くとともに介入方法を紹介する。

※バックナンバーの価格

(2016年3月号まで) 925円(税込) + 送料151円、
(2016年5月号から) 1,480円 + 送料151円

お申し込みは

(株) 東京法規出版 地域保健編集部 FAX: 03-5977-0385

『地域保健』購読のご案内

- 年6回、隔月〔奇数月〕1日発行
- B5判、総100頁（本文96頁、表紙4頁）
- 価格 1冊あたり 1,480円（税込）、送料151円
年間購読 《公費前納および個人》7,990円（税込、送料弊社負担）
年間購読 《公費後納》8,878円（税込、送料弊社負担）
※学生割引あり。 ※学生および書店の方は下記にお問い合わせください。

お申し込み

電話 03-5977-0300 FAX 03-5977-0385 ウェブ <http://www.tkhs.co.jp>

かんたん・充実・低コストの介護情報サイト提供サービス



かいご web

かいご web は、豊富な情報量と便利な機能が充実した地域住民の方向けの介護情報ウェブサイトを、市区町村独自で簡単に作ることができるサービスです。



利用料
年間50万円より

住民の方への情報提供サービス

- エリア内介護サービス事業者検索機能
- 介護保険制度のご案内
- 介護予防事業のご案内
- 健康・医療・介護の情報記事
- 認知症についての啓発記事
- 基本チェックリスト・認知症チェックリスト完備
- 在宅医療・介護連携推進事業対応検索機能 などなど…

かいご web の特徴

イラスト付きのわかりやすい内容で介護保険制度を紹介

ふりがな機能やよみあげ機能などウェブアクセシビリティを配慮

エリアに特化した専用サイトならではの情報の正確さ

エリア内で利用できる介護サービス事業所をかんたん検索

認知症の情報や認知症専門の医療機関情報も掲載

高齢期の健康や医療、介護のアドバイスなど情報コラムが充実

マルチデバイス対応でスマートフォンでもすっきり見やすく

基本チェックリストや認知症チェックリストも簡単操作で自己診断

制度改正や施行状況にあわせた更新作業も複雑な手間要らず

Microsoft Word 感覚で編集できる便利なコントロールパネル

自由管理の広告表示エリアの運用で広告収益の獲得も

自動更新対応の介護サービス検索で利便性が向上

かいご web なら介護に関する情報提供サイトがすばやく住民の方に公開可能です。掲載記事内容やご利用できる機能は、デモサイトで実際にご確認いただけます。

住民向けウェブサイトでの介護サービス情報提供をご検討の際は、ぜひお問い合わせ下さい。



東京法規出版 ICT 事業企画室

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-29-22

TEL 03-5977-0350

URL <http://www.tkhs.co.jp/kaigoweb/>

